ねんきんだより Pensions News

出産前後の国民年金保険料免除制度について

国民年金第１号被保険者が出産を行った際に、出産前後の一定期間の国民年金保険料が免除される制度が平成31年４月から始まりました。

○免除期間
出産予定日または出産日が属する月の前月から４か月間（以下「産前産後期間」といいます）の国民年金保険料が免除されます。なお、多胎妊娠の場合は、出産予定日または出産日が属する月の３か月前から６か月間の国民年金保険料が免除されます。

○対象となるかた
国民年金第１号被保険者

○届出方法
出産予定日の６か月前から提出可能です。

問合せ　太田年金事務所 ☎４９－３７１６

消費トラブルにご注意！

布団の処分・点検を口実にした強引な訪問販売に注意！

【事例】

「処分してもよい布団はないか」と男性が訪問してきたので、押し入れにある座布団を引き取ってもらうことにした。すると、業者が勝手に押し入れを開け、座布団ではなく羽毛布団などを出し「このままではダメになってしまう。リフォームしたほうがよい」と熱心に勧めてきた。根負けして約13万円の契約をしてしまった。年金暮らしの身には高額過ぎて払えない。（80歳代 女性）

【ひとこと助言】

「処分してもよい布団はないか」などと訪問されても、安易に家に入れないようにしましょう。家の中にあげてしまうと、点検を強いられたり、布団の購入やリフォームの契約を勧められたりする恐れがあります。

布団の処分は、事業者ではなく自治体のルールに従って処分しましょう。また、事業者の対応は、なるべく１人でせず、一度帰ってもらうなどして、家族や周囲の人などに同席してもらいましょう。家族や周囲の人は、高齢者の家に不審な訪問者が来ていないか、いつもと違う様子がないかなどに気を配りましょう。クーリング・オフや契約の取消しができる場合があります。しつこく勧誘され恐怖を感じたときや困ったときは、最寄りの警察や消費生活センターなどにご相談ください。

相談は消費生活センターまで　☎８２－７８３０（ナヤミナシ）

休日当番医

期日	内科系		外科系	耳鼻科
５月３日（祝）	ましも内科・胃腸科 ６２－２０２５	明和赤ちゃんこどもクリニック※ ８４－１１６６	明和セントラル病院 ８４－１２３４	
５月４日（祝）	かさはら内科医院 ５５－２５３７	小西医院 ８６－２２６１	岡田整形外科クリニック ７２－３１６３	－
５月５日（祝）	寺内医院 ８８－１５１１	真中医院 ７２－１６３０	川島脳神経外科医院 ７５－５５１１	
５月７日（日）	後藤内科医院 ７２－０１３４	たけい小児科・アレルギー科※ ７６－２５２５	ふじの木整形・内科クリニック ９１－４０７０	川村耳鼻咽喉科医院 ７２－１３３７
５月14日（日）	福田ペインクリニック ８４－１２３３	阿部医院 ６２－５４２８	館林市夜間急病診療所 ７３－２３１３	－
５月21日（日）	大泉町泌尿器科内科 ６３－７８００	星野こどもクリニック※ ７０－７２００	新橋病院 ７５－３０１１	板倉耳鼻咽喉科クリニック ８０－４３３３
５月28日（日）	横田胃腸科内科 ７２－４９７０	横田医院 ７２－０２５５	澤田皮膚外科 ７０－７７０３	－
６月４日（日）	三浦医院 ６２－２９１７	明和赤ちゃんこどもクリニック※ ８４－１１６６	明和セントラル病院 ８４－１２３４	川田耳鼻咽喉科医院 ７２－３３１４
６月11日（日）	館林記念病院 ７２－３１５５	多々良診療所 ７２－３０６０	慶友整形外科病院 ４９－９０００	

歯科	
館林邑楽歯科保健医療センター ７３－８８１８ 午前９時～正午	◆緊急　公立館林厚生病院（内科系・外科系）☎７２－３１４０ ◆コロナに関すること　群馬県受診・相談センター　☎０５７０－０８２－８２０（24時間受付） ◆夜間　館林市夜間急病診療所（内科・小児科）午後７時～10時（日・祝、年末年始除く） ☎７３－２３１３（要受診前電話連絡）

●診療時間は、午前９時～午後５時（ただし、耳鼻科の診療時間は、午前９時～午後１時）
●内科系の※は、小児科のみとなります。　●受診前に必ず医療機関に電話で確認してください。
●救急テレホンサービス　☎７３－５６９９：受診可能な病院を紹介しています。

Face フェイス

大好きな動物たちとの充実した毎日

多くのかたに動物とのふれあいを楽しんでほしい

青木　健さん

あおき　たける　28歳
大字大曲出身

趣味はギターの弾き語りやカメラで野鳥を撮ること。
担当している大型のインコは、人間の３歳～５歳程度の知能があるといわれ、その頭の良さに驚いたそうです。

特別な経歴

２年前から群馬サファリパークでいろいろな動物たちとふれあう仕事をしている青木さん。以前は、警察官をされていました。

白バイ隊員への道のり

高校を卒業すると警察学校に進み、全寮制の厳しい規律を遵守し、勉強とともに過酷な訓練に耐え抜き、警察官となりました。

警察官となった後も向上心は衰えることなく、憧れであった白バイ隊員として活躍されました。白バイ隊員は誰でもなれるわけではなく、やはり大変な訓練を乗り越えた人だけがその職務に就くことができるそうです。

一大決心

白バイ隊員として、職務に邁進する日々でしたが、幼少時から大好きだった動物と関わる仕事への憧れが胸の内に膨らむのを抑えられませんでした。

しかし、同級生たちは大学を卒業して就職するような年齢になっています。ここからの進路変更は大変な勇気が必要です。

しかも動物園やサファリパークなどへ就職するには、２年間専門学校で学び直す必要があります。

それでもやはり後悔したくないと、一大決心をしました。

充実した毎日

毎日大好きな動物たちとふれあうことができ、とても充実しているそうですが、やはりつらいのは、動物たちの命がつきてしまった時だそうです。もともと野生動物である本能があるため、具合が悪いことを気づかせてくれません。見極めるためには、日頃からの細心の注意を払っていなくてはならないということでした。

「今後は早く鳥インフルやコロナなどもおさまり、多くのお客様にサファリパークの動物たちとのふれあいを楽しんでもらいたいと思っています。板倉町のかたにもぜひ遊びに来てもらいたいです」と爽やかに話してくれました。

レポーター
広報編集委員
横塚（よこつか）　修（おさむ）